

第17回 大阪アジア映画祭  
インディ・フォーラム部門 正式出品

# 幻の蜜

一緒に見た光を、たぶんずっと覚えてる。

野岸紅ノ葉 池田埜々耶

岩井堂聖子 椿原愛 保坂直希 山口詩史

菊池亜希子 吉沢悠

監督:伊林侑香 脚本:伊吹 音楽:モリマツコウスケ

主題歌:中山うり「ホタル」(A.O.I Tuff Beats)

製作:堀江泰 福田里美 坂本欣弘 プロデューサー:福田賢志 保坂直希  
撮影・照明:渡辺浩章 録音:北野愛有 衣装・ヘアメイク:河合里美 助監督:内田知樹  
題字:緒形直人 配給・宣伝:イハフィルムズ 助成:AFF  
制作プロダクション:コトリ 製作幹事:zoo 製作:「幻の蜜」製作委員会(堀江車輛電装/zoo/コトリ)  
©「幻の蜜」製作委員会 2022年/日本/86分/5.1ch/ヨーロッパビスタ/カラー/デジタル  
特別協賛:株式会社BARON 協賛:富山テレビ放送/北日本新聞社/FMとやま/特定医療法人財団五省会

# さみしい日もあるけれど ふたりは歩いていく

富山県出身・在住 弱冠 23歳の伊林侑香監督による  
長編デビュー作にして、珠玉の青春映画



中川かなたは14歳の中学生。両親の離婚により、転校した学校にも馴染めず日々を過ごしている。夏休みに入り、かなたはやることもなく母・奈保のスナックを手伝う毎日。そんなある日、母から「夏休みの思い出作りに、おばあちゃんち行ってくれば？」と提案される。気乗りしないまま祖母・吉乃の家を訪れたかなただったが、そこで待っていたのは離れ離れになった妹の有田すみれだった。久しぶりの再会に無邪気に喜ぶすみれとは対照的に、素直になれないかなた。どこかすれ違う姉妹だったが、妹の願いから今の季節には現れないはずの蛍を探しに行くことになる。田を駆け、川を渡り、森を抜けた先に現れた奇跡とは。夏休みの終わりに、煌めく思い出と消えることのない絆を取り戻す。富山を舞台に現代の新しい家族の在り方を今一度考えるきっかけになるハートフルな冒険譚。



第33回フジテレビヤングシナリオ大賞で佳作を受賞した伊吹氏によるオリジナル脚本をもとに、全編オール富山ロケにて撮影を敢行。100名を超えるオーディション参加者の中から富山県在住の野岸紅ノ葉が主人公・中川かなた役に、池田竺々耶がかなたの妹・有田すみれ役に抜擢され、岩井堂聖子、菊池亜希子、吉沢悠ら実力派キャストが脇を固めているほか、富山出身の椿原愛も出演。新人監督×新人俳優による瑞々しい、新たな青春映画が完成した。

なかなか自分の奥にある言葉は  
大切であるほど  
口に出す事はできないけれど、  
ただ一緒に歩くだけでその一歩が  
せきとめていた気持ちを流してくれる。  
雨が止んだ後の晴れ間は  
幻の蛍の様に優しい光でした。

田中美里 (俳優)

我慢と不機嫌のあいだで揺らぐ達観と諦念。  
不平不満があるけれど、  
どうにもならないことは判っている。  
それに、誰かへ八つ当たりしている  
ことだって判っている。  
何かを諦めかけているからこそ悟る、  
相手を押し量った“優しさ”の在り処がこの映画にある。

松崎健夫 (映画評論家)



出演：野岸紅ノ葉 池田竺々耶 岩井堂聖子 山口詩史 椿原愛 保坂直希 / 菊池亜希子 吉沢悠 ほか

監督：伊林侑香 脚本：伊吹一 プロデューサー：福田賢志 保坂直希 撮影・照明：渡辺浩章 録音：北野愛有 青石太郎 大町響樹 川越梨央 衣装・ヘアメイク：河合里美

助監督：内田知樹 松本大翔 種村見汰 制作：水守里帆 平野五月 ポスター撮影：坂本欣弘 スチール：URARA テオ イールイ 料理監修：伊林陽子

主題歌：中山うり「ホテル」(A.O.I./Tuff Beats) 作詞/作曲 中山うり オリジナルサウンドトラック：All Music Produced by モリマツコウスケ/作曲・編曲 Misi

題字：緒形直人 制作プロダクション：合同会社コトリ 配給・宣伝：イハフィルムズ

(87分 / 5.1ch / ヨーロピアンビスタ/カラー/デジタル/DCP) ©「幻の蛍」製作委員会

<https://maboroshinohotaru.com/>

## 7/9(土)より 新宿 K's cinema にて公開

ステッカー(数量限定)付き全国共通特別鑑賞券 劇場窓口にて発売中!

価格:1,300円(当日一般1,800円のところ)

新宿駅東南口階段下 甲州街道沿道コモショップ左入

### 新宿 K's cinema

03 (3352) 2471 [www.ks-cinema.com](http://www.ks-cinema.com)

各回入替・全席指定席 / WEB割有

